1. 診療科紹介 （専攻医・後期研修医向け）

項　目	内　容
① 診療科名	麻酔科
② 診療科の特徴	外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科など多くの科がそろっており、万遍なく研修を行うことができます。 整形外科の症例は神経ブロックを併用して行っており、技術の習得可能です。
③ 診療科のモットー	
④ 診療内容・実績 (2025年7月時点)	2024年の麻酔科管理症例数：2060件。
⑤ 診療体制 (2025 年7月時点)	指導医 3名、麻酔科標榜医 2名、歯科麻酔科医 1名
⑥ 診療科カンファレンス	朝8時30分から 15分間ほど
⑦ 経験できる疾患	外科、開頭、開心術、呼吸器外科疾患、人工関節置換、婦人科疾患、眼科疾患、耳鼻科疾患、口腔外科疾患など
⑧ 経験できる技術・技能	ファイバー挿管、体幹、四肢神経ブロック、硬膜外麻酔、経食道心エコー
⑨ 学会について	年次学術集会 1～3回
⑩ その他	

2. 専門研修プログラムに準拠しない形での採用の場合

項　目	内　容
① 取得可能な専門医	
② その他	麻酔科標榜医、麻酔科認定医、経食道心エコー認定(JBPOT)

3. 専門研修プログラムで採用の場合 （内科・外科・眼科除く）

項　目	内　容
① 基幹施設	名古屋大学医学部附属病院麻酔科
② 取得可能な専門医	日本専門医機構麻酔科専門医
③ その他	麻酔科標榜医、経食道心エコー認定（JBPOT)

4. 指導責任者より専攻医・後期研修医へメッセージ

麻酔科指導医 3名、麻酔科標榜医2名、歯科麻酔科医 1名と代務医師2～3名にて麻酔管理を行っています。

週2日の心臓外科麻酔、年間 80例ほどの気管ステントの麻酔、ほぼ毎日の整形外科の神経ブロックなど若手麻酔科医の研修の場として、症例が豊富にあります。ぜひ当院へお越しください。

国立病院機構 名古屋医療センター 麻酔科

後期研修医募集

後期研修先を探しているけれど、どこをポイントに選んでいいか困っている先生方へ、当麻酔科の特色を紹介します！

当院は、名古屋市の中心部の基幹病院であり、第三次救命救急センターです。

日本麻酔科学会から麻酔科認定病院に認定されており、6人のスタッフと研修医、非常勤医師で年間約2000例の全身麻酔管理を行っています。

麻酔科専門医研修プログラムにもしっかり対応。

名古屋大学麻酔科研修プログラムの専門研修連携施設となっています。

☆ポイントその１　神経ブロックがとっても多い！

これからの麻酔科医は、超音波と神経ブロックが大きな武器になると思いませんか？
当科では、年間約900例の末梢神経ブロックを行っています。

経験できる神経ブロック

腹直筋鞘ブロック　腹横筋膜面ブロック
腰神経叢ブロック　坐骨神経ブロック
腕神経叢ブロック　大腿神経ブロック
傍脊椎ブロック　頭皮神経ブロック　など

☆ポイントその２　経食道心エコーがすごい！

心臓麻酔のTEE、なんとなく眺めて終わってしまっていませんか？
当科では、2名がJB-POT（経食道心エコー認定試験）の資格を持っています。ただ資格を持っているだけでなく、臨床に生かしています。**心臓外科の先生も手術中にエコー所見を確認してきます（送血管挿入後の解離の有無、IVC脱血管の位置など）。**心臓外科手術は週2回のペースで、大血管手術や弁形成手術を多く行っています。
心臓外科医とＴＥＥを通じてカンファレンスし、手術適応や方針決定にもかかわっていくのは、とてもやりがいを感じることができます。

☆ポイントその３　気道確保のスペシャリストに！

当院では年間約80例の気管ステント術を行っています。気管ステント術は気管の狭窄部位に、硬性鏡を用いてシリコンや金属のステントを挿入して気道閉塞を解除する手術です。
見たことのある先生は少ないのではないでしょうか？通常なかなか出会うことのないような重度の気道閉塞を、数多く経験することができます。
整形外科のリウマチ患者さんと脳神経外科の頸椎脊椎固定術が多いため、ファイバー挿管の症例数が充分あります。

医局紹介

指導医3名、標榜医2名、歯科麻酔科医1名です。
スタッフの雰囲気も良く、広くて明るい医局でカンファレンスや昼休憩を行っています。**名古屋市の中心にあり**立地がよく、名古屋駅や栄が近いので仕事後も充実！